

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年10月4日

事業名:	新型コロナウイルス影響下での育児支援事業 -オンライン育児プログラム導入とその評価-
資金分配団体:	公益財団法人 信託資本財団
実行団体名:	特定非営利活動法人 和歌山子どもの虐待防止協会
実施時期:	2020年5月～2021年3月
事業対象地域:	和歌山県
事業対象者:	一般養育者(児童相談所、児童養護施設職員時を含む)

I. 事業概要

事業概要

新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）は、生命の脅威、健康被害、世界の経済に大きな影響をもたらし、日常生活での多大な制限をもたらした。COVID-19 の拡大とともに、自宅隔離などで子ども、養育者の家庭内ストレスの増加によって、児童虐待の増加リスクの上昇が指摘されている。本事業はオーストラリアで開発されたオンライン子育て支援プログラムをすみやかにわが国に導入し、その有用性を評価するとともに社会実装を目指す。COVID-19 影響下では対面による子育ての情報・スキルの獲得は感染リスクをもたらすが、本事業のオンライン子育て支援プログラムは、COVID-19 を回避できるものである。

II. 進捗報告の概要

総括

1. オンラインによる子育て支援プログラム（Triple P On-line：以下 TP オンライン）を開発したトリプル P インターナショナルと協議の上、以下の作業（プログラム提供システム構築）を依頼し、プログラム配信時期を検討した。（6月から9月）

- ① TP オンライン講座に関するあらゆる教材・書類の翻訳（8 モジュールの教材、課題、講義ノート、修了書など）、および挿入ビデオの翻訳と編集。
- ② TP オンラインにアクセスできるサーバーの整備
- ③ TP オンライン配信の整備

上記に関する同意のため LOA(Letter of Agreement)を作成し、10月1日付けで署名完了した。

2. プログラムは和歌山県下の一般養育者 150 名、児童相談所等職員 50 名の計 200 名に提供する。プログラム参加を事前に募るため案内チラシを作成（和歌山県、和歌山県教育委員会後援を取得）した（9月）。

3. 200 名においてプログラム効果を分析・評価のため、和歌山県立医科大学倫理委員会に研究実施申請を行った（9月）。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
1. TP オンラインシステム構築と提供 2. 事前登録のための広報 3. TP プログラム評価	<p>プログラム提供システムは11月5日完了を予定し、プログラム配信は11月10日からの予定である。</p> <p>9月12日和歌山子どもの虐待防止協会・会員セミナー（公開）、9月29日要保護児童対策調整機関・調整担当者研修会において本事業の説明と案内を行った。また後援を得た和歌山県庁、教育委員会に出向き協力を依頼。関係各所（県市行政、保育所、保健センター、児童養護施設等）に案内チラシ配布を開始した。10月1日時点で約30名の登録状況である。</p> <p>9月提出分の申請書の受理、事前審査が終了した。10月25日に倫理委員会にて本審査の予定。（申請者出席で説明）</p>

活動	進捗状況	概要
1. TP オンラインシステム構築と提供時期 2. 広報 3. プログラム評価	<p>LOA（活動計画の同意書）</p> <p>関係各所への配布と挨拶 すでに2000部印刷</p> <p>今後、地方紙等に掲載を依頼 紀伊民報 リビング和歌山</p> <p>倫理委員会書類提出 済み 評価アンケート作成 済み 説明書・同意書作成 済み</p>	<p>プログラム提供システム完了：11月5日 プログラム配信開始：11月10日</p> <p>和歌山県庁子ども未来課 和歌山市子ども総合支援センター 和歌山市保育所、幼稚園、学校 和歌山県教育委員会 紀南地方教育委員会：上富田町 Instagram ホームページ</p>

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述

本プログラムを和歌山子どもの虐待防止協会の活動地域・和歌山県において、まず 200 名のプログラム提供（効果測定）を行い、さらに地域実装を目的に県自治体の協力を得て和歌山県において 500 人規模のプログラム提供を行う。

また、トリプル P インターナショナルとの協議の結果、プログラム評価の 200 名以外に 1,750 名の無料アクセスコード提供を受けることを LOA にて確認した。全国においても多くの養育者に TP オンラインを令和 4 年度に提供する予定である。（全国は 1,750 - 和歌山 500 = 1,250 名）

V. インプット

		2020 年度	2021 年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥13,664,000	¥13,664,000	¥5,798,019	42.43%
	管理的経費	¥0	¥1,336,000	¥1,336,000	¥195,298	14.62%
合計		¥0	¥15,000,000	¥15,000,000	¥5,993,317	39.96%

補足説明

6月1日 財団から 9,000,000 円入金

9月22日 残金 3,006,683 円

上記記載の直接事業費内訳：翻訳に関する金額のみ記載（手数料含む）

1回目 2,228,950 円 + 2回目 3,569,069 円 = 5,798,019 円

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

特になし

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	有り	和歌山子どもの虐待防止協会ホームページ インスタグラム
広報制作物等	有り	本事業の案内チラシ
報告書等	無し	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	和歌山子どもの虐待防止協会 総会 セミナー 例会 順調に開催	令和3年6月13日 (体罰防止シンポジウム) 9月12日 (ティーン TP セミナー) 月に1回：近況報告、11月虐待防止月間の準備等
2. 内部通報制度は整備されていますか。	ホームページ メール ニュースレター 等で 適宜伝達	各種、協会関係の活動報告